

# 常 (目標・努力・発見)

平成31年4月19日  
北方町立北方中学校  
学校だより 第2号

## 7年もの長きに渡って職員玄関に飾ってあった「盆石」

本校の職員玄関に飾ってありました「盆石」は、平成24年度より7年間にわたり北方町在住の安藤 和子様が今年度4月まで毎月違った作品（景色）を飾り続けてくださいました。毎月作品を取り換えるというのはとても大変なご苦労があったのではないかと思います。先日、安藤様が次のようなお手紙を私の所へ届けるとともに、元号が改まるのを機会として作品提供から一度身を引かせていただきたいとお話をいただきました。

北方中学校の皆様今日は。私は毎月玄関の廊下に盆石を飾っている安藤 和子と申します。皆様がいつもやさしい眼差しで鑑賞して下さって嬉しく思っております。ありがとうございます。

盆石は、お盆に石と砂で日本の四季の美しさや自分の心のうつろい等を表現する 1,300 年前からある日本古来の伝統芸術であります。

不思議なご縁で平成24年から今迄毎月景色を変えて盆石を展示致しておりましたが、一度も物がなくなったり、いたずらをされたりしたこともありませんでした。これは、すごい事だと感動いたしております。東京の家元の先生にもお話したら感心しておられました。ある先生から「この廊下を通る生徒達も静かになり、心おだやかに歩くようですよ。」と嬉しいお言葉をいただき楽しくなりました。

私自身もこの7年間毎月景色を考える事によって生甲斐のようになってまいりました。本当にありがとうございました。私事になりますが、今の天皇と同じ年となり、この期に一度失礼させていただく事にお許しいただきたいと思っております。

5月より『令和』と新しい元号となり、輝かしい未来一杯の皆様には、立派に成長なされ、素晴らしい人生であります様に、北方町住民の一人として、遠くよりお祈りいたしております。北方中学校の皆様、長い間本当にありがとうございました。

敬具

平成31年4月吉日 安藤和子（豊石）

7年もの長きに渡り、この北方中学校の職員玄関に飾りをし続けていただいた安藤様には感謝の言葉しか思いつきません。ただ、私がもう一つすごいと思ったのは、安藤様が続けてこられた7年間展示してあった盆石が、一度たりとも物がなくなったり、いたずらをされたりすることがなかったという事実です。その背景には、この盆石を素敵なものだと感じて鑑賞してくれた過去の先輩方や今の皆さんの温かい存在があったのです。職員室前の廊下で優しい眼差しで盆石を鑑賞する皆さんの存在こそが、安藤様の生き甲斐となっていたのです。これはとても素敵なことだと思います。これからも皆さんには、自分たちのちょっとしたしぐさや対応が周りの人たちの生き甲斐につながることを考え、日々、生活して行ってほしいと思います。

【最近の盆石紹介】

<p>四月 華（はな）</p>		<p>三月 輝く朝富士</p>	
<p>二月 流水</p>		<p>一月 厳島神社</p>	
<p>十二月 富士越しの波</p>		<p>十一月 奈良三笠山</p>	
<p>十月 ケニアのサバンナ</p>		<p>九月 ハワイ ダイヤモンドヘッド</p>	



安藤様、今までどうもありがとうございました。